

## 産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施地区数ア	評価対象外地区数イ	評価対象地区数アイ	成果目標の平均達成率	評価対象地区数のうち、都道府県が地域協議会へ改善指導を必要とした地区数	地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無	【参考】評価対象地区数のうち、達成率80%未満の地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
福岡県	23	12	11	88%	2	有	2	<p>令和2年度の評価対象の地区である11地区のうち、目標達成している地区は9地区、未達成が2地区となっている。</p> <p>未達成となった地区のうち、茶では全国的な碾茶の供給過多により管内JAや市場で生産調整が図られたため、販売額が低下した。野菜のうちトウモロコシ及びブロッコリーでは、苗づくりの失敗及び虫害による収量の減少、新型コロナウイルス感染症の影響による販売単価の下落により、販売額が低下した。</p> <p>いずれの取組についても、今後目標達成となるよう関係機関と連携し、栽培技術・管理の改善、新たな需要の創出、販売戦略の改善のための支援を行っていく。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し88%であり、目標は達成されていない。このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、福岡県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、2地区である。</p> <p>&lt;参考:評価対象地区の概要&gt;</p> <p>【水稲・麦】 令和2年度の評価対象の1地区は、目標達成している。</p> <p>【野菜】 令和2年度の評価対象の8地区のうち、目標達成している地区は7地区、未達成が1地区となっている。 販売額増加の目標が未達成となった1地区の主な要因は、トウモロコシにて苗づくりの失敗及び虫害により収量が減少したこと、ブロッコリーにて新型コロナウイルス感染症拡大の影響による販売単価が下落したことによるものである。</p> <p>【茶】 令和2年度の評価対象の2地区のうち、目標達成している地区は1地区、未達成が1地区となっている。 販売額増加の目標が未達成となった1地区の主な要因は、全国的な碾茶の供給過多となり生産調整が図られたことによるものである。</p>